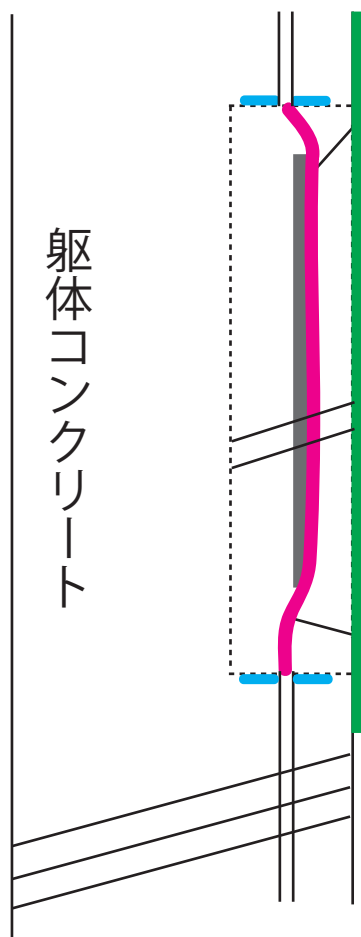
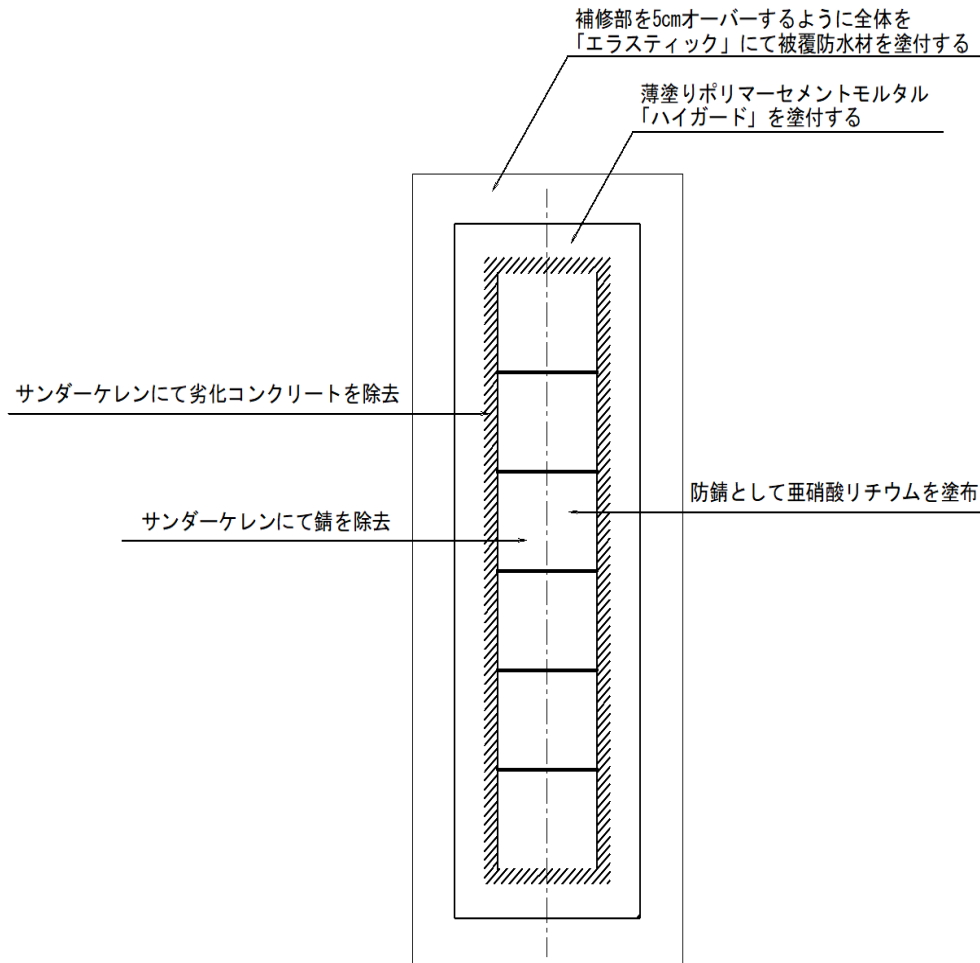


被り厚が少ない発錆・剥落部対策（KHT 工法）



1. 健全部を研り出す
2. ■ 鉄筋錆ケレン・添筋
3. ■ シラン系含侵材塗布（マクロ腐食予防）
4. ■ 鉄筋に亜硝酸リチウム塗布 or 亜硝酸カルシウム
5. // 在来左官工法で断面修復（TDR 工法）
6. ■ 透気・透湿性のある被覆防水
||
被り厚は確保できていないため
 1. 水の浸透・塩分の浸透を防ぐことで耐久化する
 2. 透気・透湿性のない被覆材はブリストリングや背面で結露して発錆や凍害を促進する

被り不足による鉄筋露出部の補修工法



1. 露出鉄筋の錆ならびに鉄筋近傍の劣化コンクリートをサンダーケレンにて除去する。
※この時近傍コンクリートの健全性はテストハンマーにて確認する。
2. 露出鉄筋に「亜硝酸リチウム」を塗布する。
3. 薄塗りに対応するポリマーセメントモルタル「ハイガード」にて断面修復する。
4. 「ハイガード」界面を5cmオーバーで被覆防水材料「エラスティック」を塗付ける。
※震動や動きの可能性のある部分にはメッシュまたは、短繊維を用いて追従性を確保する。